



武田信玄の章

甲斐の武将、武田信玄は、治水、鉦山開発、優れた政治力によって甲斐をはじめ、遠江、駿河までを手の内に収め、さらに越後の上杉謙信と対立を続けながらも、信濃の一部まで領有するにいたったのである。

そして、元龜3年(西暦1572年)、信玄は最大の敵である謙信を、南関東の北条氏に牽制させつつ、自身は大軍を率いて京の都へと進軍を始めた。が、その折、信玄の上洛を阻止すべく動き始めた、織田信長、徳川家康の連合軍と合戦となってしまった!

しかし、時の勢いは信玄にあった。三河の三方ヶ原において対峙した徳川家康の軍勢を、ことごとく打ち破った信玄は、以後徳川方の諸城を次々に攻め落とし、翌、天正元年には、三河野田城を包囲していたのだ。

ペンタウエの偉大な魔法使いエティスは、この快進撃を続ける武田信玄の背後に、魔の気配を感じるという……。

登場人物



敵モンスター

武田信玄(1521—1573)

甲斐の大名家、武田信虎の子として生まれ、のちに信濃、駿河全域と上野、飛騨、美濃、遠江、三河の一部など領有するに至った。1572年に入ると、上洛のために西上、途中、徳川家康、織田信長の連合軍と衝突するが、三方ヶ原にてこれを撃破、徳川方の諸城を次々と攻め落とし、天下統一はならず、翌年に病死。



滝川

織田信長の家臣として、徳川家康軍とともに参戦した三方ヶ原での、武田信玄の軍勢との戦いで敗退、自身も負傷してしまっ



雲海

山野に起居しながら、日本中を旅し、修行を続ける山伏だが、その正体は、ようとして知らない。



アシュラ

3つの顔と6本の腕を持つ悪神。アシュラが出てくる部屋では、床と左右の壁から槍が飛んでくる。この槍には猛毒が塗ってあり、ひとつでも当たると致命傷になりかねないので、先にその仕掛けを壊すことが必要だ。アシュラ自体は、25回叩けば、やつつけられる。